<運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	有限会社　在宅ナースの会	事業所名	複合型サービスふくふく寺前
所在地	（〒236－0014） 横浜市金沢区寺前 2-5-38		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

・住み慣れた地域でご本人やご家族の意向や希望を尊重した生活が送れるよう全職員が意識し支援していきます
・医療ニーズのある方や様々な病状、状態の方の在宅療養を支援するとともに、介護者・ご家族も含めた総合的な支援を行います
・24 時間 365 日臨機応変・迅速・柔軟なサービスで在宅生活の支援を行います
・地域との連携・協議・共存を目指し、地域での開かれた場所つくりを目指します
・十分な感染防止対策を実施し、サービスの提供が止まることなく継続できるよう感染防止策を徹底します
・職員研修や、外部研修、オンライン研修等を通して知識や技術の向上に努め積極的に参加できる環境つくりをします

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2020 年 12 月 14 日	従業者等自己評価 実施人数	（ 18 ）人　※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2021 年 3 月 11 日	出席人数（合計）	（ 10 ）人　※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	☑自事業所職員（ 4 人）　☐市町村職員（ 0 人）　☑地域包括支援センター職員（ 1 人）　☑地域住民の代表者（ 2 人） ☑利用者（ 1 人）　☑利用者の家族（ 1 人）　☑知見を有する者（ 1 人）　☐その他（　　人）		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		① サービスの質の向上に向け努力し、個々に年間目標を立てる ② 職員間の情報の共有や意見の提示が迅速に行えるようにする ③ 心身ともに休まる時間の確保と場所つくりに努力する ④ 災害発生時の対応について訓練のみならず日頃の災害意識、対応が重要となる為高い意識が持てるような働きかけが必要	① 個別の年間目標を立てることができなかった ② ミーティングノートを活用し既読後はサインをすることを徹底した ③ 担当表に個々の休憩時間を明記し、互いに声掛けを行いながら休憩時間を確保した ④ 防災委員を中心に定期的な防災訓練の実施し、防災用品・備蓄品の整理や交換を行った。	① 年度初めに感染対策に追われたことで年間目標の提示ができず取り組みができなかった。 ② 自発的に情報収集をしようとする職員が多くみられる。記入がない情報についても記入を促す姿勢もみられており意識が高まっている ③ 声掛けを行うことで互いに協力し休息を取れるよう配慮できている。行事日は休息が取れないことがある為スタッフの配置人数等も検討していく ④ 災害・防災に対する意識が高まっている
Ⅱ.サービス提供等の評価	1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	① 日々利用者・家族とコミュニケーションを持つことできめ細やか対応ができ小さな変化にも気づけるような関係性の構築 ② 利用者・家族が利用内容を理解し安心して利用できるようわかりやすく説明する ③ACP を積極的に導入し利用者家族の予後予測への考えを共有しあうことで安心して利用でき意見できる環境を作る	① 利用者・家族の状況は多職種で情報共有しいつでも必要な時に柔軟なサービス提供を行った ② 利用者や家族が理解できるよう具体的な事例を用いてわかりやすく説明を行った ③ ACP を活用することで、利用者や家族の希望や今後起こりうるリスクについて互いに共有することができた	① 利用者・家族が安心して利用できている。信頼関係を大切に継続していく ② 利用開始後のサービス内容についてのトラブルはない ③ 契約時に ACP 聞き取りをすることで互いに理解を深めることができ、記録に残すことで職員全員共有することができている

	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	① 主治医・薬剤師・理学療法士等の多種多様な連携が取れており、地域の中での役割を果たす ②緊急時の対応について情報共有し、全職員が対応可能状態にする	① 地域の中での多職種連携を電話連絡や、インターネット環境下で情報共有し、研修参加や情報発信に力を入れた ②緊急時の対応についてミーティングや日々の連絡記録で状態の経過を共有している	① 地域の情報交換の機会が減っている中多様なツールを利用し情報収集の努力をした ② 情報を共有することで全職員が対応可能となっている。緊急事態宣言発令時にも各関係機関と連絡を密にとり、利用者・家族に対して事業所での対応策をお知らせし、統一した対応ができるようにした
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	①資格習得の研修に参加することで、自信を持ってサービスの提供ができるようになっている ②地域・外部へのアピールが積極的にできるように努力が必要	① 資格習得の研修に参加することで、専門的知識の向上に努めている ② コロナ下での研修参加には限界を感じたが、ZOOM 会議等に参加し事業所が行っている事を伝える機会を得る事ができた	① 自信を持ってサービスの提供ができるようになっている ② 感染対策を強いられる中でも安全に参加できる研修に参加し地域にもアピールする機会を持った
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		各関係機関との連携を密にとることで、どのような状態の利用者でも安心して利用できるような事業所の位置づけとなっている。看護小規模多機能居宅介護事業所としての質の向上に今後も努力が必要である	医療依存度の高い方、終末期の方、認知症の方が地域で安心して在宅生活を送れるよう地域の各関係機関とのかかわりを密にとり、総合的に支援した。	各関係機関との連携を密にとり、どのような状態の利用者でも安心して利用できるような事業所の運営に努力している。感染対策に留意しながらサービスの提供が止まることなく行えることができた。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		① サービスの質の向上、スタッフのモチベーションの向上と質の向上ができるように個々に目標設定が必要 ② 職員間の情報共有・提供が円滑かつ迅速に行えるようにする ③ 心身共に休まる時間の確保と場所の提供つくりに努力した ④ 災害時、緊急時にもサービスが提供できる対応策を実施した	① サービスの質向上ができるよう年間個別目標を立てる 新人教育に力を入れる ② 情報の共有がスムーズに行えるように努力する。意見の言いやすい雰囲気を作る ③ 互いに声掛けを行い休息の時間確保に努力する ④ 訓練内容を全職員が把握できるよう動画なども利用する
Ⅱ．サービス提供等の評価	１．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	① 看護職・介護職の両職種の円滑なコミュニケーションを図ることでより適したサービスの提供ができた ② サービスの趣旨及びサービス計画の内容を利用者・家族にわかりやすく説明し理解していただいた ③ ACP 用紙の活用で、利用者・家族の予後予測への考えを共有しあうことで安心して利用でき、意見できる環境を作った	① 日頃より看護・介護の両職種間でのコミュニケーションを取り利用者家族の小さな変化にも対応できるようにしていく ② 利用内容を理解しているか確認しながら、具体例を用いて説明することで安心して利用できる ③ ACP 用紙の聞き取りを全利用者様に行い、変更の有無も再聞き取りしていく必要がある
	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	① 主治医、薬剤師、理学療法士等多種多様な連携支援ができている ② 緊急時の対応について医療機関と連携し、全職員が対応可能な体制つくりを継続する	① 多種多様な職種とタイムリーに連携が取れるよう積極的に情報を交換する ② 全ての利用者の緊急時対策を医療機関と連携し全職員が対応可能な体制づくりをする
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	① 喀痰吸引や認知症研修等、専門的な資格の習得ができるよう支援している ②人工呼吸器・終末期の受け入れができる体制を維持し、積極的に受け入れができている ③ 定期的な研修を断続的に行い職員の質の向上に努めている	① 専門的な資格の習得ができるよう随時研修に参加させる ② 人工呼吸器・週末の受け入れを維持し積極的に受け入れていく ③ 必須研修の参加率を伝達講習も含め 80%以上とする
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		利用者家族が安心して在宅療養ができるよう多職種で情報共有し、最善の支援を提供している	住み慣れた地域で生活を継続できる体制を構築し質の高いサービスの提供ができるよう全職員が意識を高める。感染予防対策に力を入れ、サービスが止まることなく提供できるよう努力する

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表［事業所自己評価］

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
Ⅰ　事業運営の評価［適切な事業運営］							
（1）理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	14	3	1	0	特になし	・安心して過ごすことができるよう生活の維持回復を意欲的に行い 居心地良い場所つくりを理念にあげている
		[具体的な状況・取組内容] ・多職種間で連携し在宅で安心して過ごして頂けるよう支援している。 ・本人・家族の意向にできる限り寄り添い住み慣れた地域での生活を続ける事ができている。 ・医療ニーズの高い方や・看取りの支援が可能な体勢作りができ受入れを積極的にしている。 ・急な通い・泊りの依頼に柔軟に対応したり、24 時間対応で急な訪問に対応している。 ・住み慣れた地域で安心して暮らせる場所つくりを理念に掲げている。						
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	11	6	1	0	特になし	・理念を廊下や事務所に掲げることにより職員全員が意識し実践できるようにしている 笑顔で挨拶し、おもてなしの精神を忘れないようにしている
		[具体的な状況・取組内容] ・常に笑顔を心掛けている。 ・スタッフの目の届く場所に掲示してあり、意識し取り組んでいる。 ・研修やミーテイングで確認しあっている。					
（2）人材の育成							

<table>
<tr><td colspan="6">① 専門技術の向上のための取組</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している</td><td>2</td><td>11</td><td>4</td><td>1</td><td rowspan="2">特になし</td><td rowspan="2">・年間研修計画を掲示し、参加を促している
研修不参加のスタッフにも伝達講習や動画視聴での参加を促す</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・新人研修を実施している。
・個人目標や計画の期間等が決まっているとなお良いと思う。
・個別の話し合いは問題がおこった時にしかできていない様に感じる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している</td><td>11</td><td>6</td><td>0</td><td>1</td><td rowspan="2">特になし</td><td rowspan="2">・認知症実践研修や、喀痰吸引研修への参加を積極的に行っている
研修講師の方にアンケート結果の報告や課題の報告ができるような仕組みづくりを行う</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・法人内外問わず積極的に参加し自己啓発に努めている。
・喀痰吸引・認知症研修は順番に受講し質の向上に繋がっている。</td></tr>
<tr><td colspan="6">② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている</td><td>13</td><td>4</td><td>1</td><td>0</td><td rowspan="2">特になし</td><td rowspan="2">・朝のミーティング時間の有効活用を行う
ミーティングノートの有効活用を行う</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>
・朝のミーテイングで情報共有が行えている。参加できないスタッフにはミーテイングノートの活用により情報共有している。</td></tr>
</table>

（3）組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	1	15	1	0	特になし	・運営推進会議の報告を基にサービスにつなげられるかを話し合っている ・防災関係について運営推進会議での近隣地域の情報が有力である
		[具体的な状況・取組内容] ・会議で得られた情報はミーテイングで報告し話し合い、反映につなげている。 ・地域の情報を活用しイベントへの参加を行っている。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	15	1	0	・スタッフが安心して休息できる環境を継続してほしい	・相談しやすい環境づくりを強化しているが、相談しやすい環境にないと発信しているスタッフも居ることから、個別に面接をしたり話しやすい環境づくりに取り組む ・行事等で休憩時間が確保できないことがある為、スタッフの人員配置を考え、休息が確保できるように努力する ・体調不良などの休みに対しても柔軟に対応している
		[具体的な状況・取組内容] ・相談しやすい環境作りに努めている。 ・公休がしっかりとれている。 ・相談しやすい環境にない。 ・体調を崩した時等、長期の休みがとれるよう配慮がある。 ・個々の状況に合わせた働き方ができている。 ・スタッフ個々の意見を聞く、検討会や面談があれば良いと思う。 ・休憩が確保できない日がある。人員不足。 ・お互い協力し合い、シフト変更ができている。					

（4）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	6	9	3	0	特になし	・ミーティングノートを活用することでミーティングに参加できないスタッフとも情報を共有することができている
		[具体的な状況・取組内容] ・決定事項は迅速にミーテイングノートへ記入している。 ・日々、変動がある為フロアー責任者を中心に迅速に情報伝達がされている。					
（5）安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	3	14	1	0	特になし	・ヒヤリハット・事故報告については随時検討会を実施している 事故内容により KYT を実施しトレーニングを行っている ・新型コロナウイルス感染症についてマニュアルを更新し感染予防対策の徹底を図った
		[具体的な状況・取組内容] ・事故報告・ヒヤリハットの事例検討会を開き共有し予測する力を身につけている。再発防止に努めている。 ・研修で学ぶ機会を設けている。 ・緊急時連絡体制ができていて、事業所内に掲示している。					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	10	7	1	0	特になし	・緊急事態宣言下で十分な訓練は行えなかったが、動画撮影をして不参加だった職員と視聴し情報を共有することができた ・防災委員により、定期的な委員会の開催と備品管理ができている
		[具体的な状況・取組内容] ・年 2 回、消防避難訓練を行い、対応できるよう緊急時に備えている。 ・災害時の為の備蓄確保ができている。					

		・安否確認の方法も明確になると良い。					
Ⅱ　サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	14	4	0	0	特になし	・自宅訪問の際に家族との情報交換が行えている 介護力に応じて草原時間を変更したり夕食まで摂取し帰宅する方もおり、個別対応をおこなっている
		[具体的な状況・取組内容] ・自宅へ訪問し状況把握をしている。 ・必要に応じ、夕食後の送迎や、早お迎えなど個別に対応を行っている。 ・ご家族との連絡を密にとり、些細な事も共有している。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	9	8	1	0	特になし	・看護・介護のコミュニケーションは取れている ・ケアマネージャー、管理者、サービス提供管理責任者での情報共有を積極的に取り、多職種が共同し利用者様の介護にあたるようにしている ・2 フロアーの死角に注意し声掛けをしながら互いを尊重するようにしている
		[具体的な状況・取組内容] ・看護・介護のコミュニケーションが取れている。 ・情報の共有が出来ていない事もあると感じる。 ・こまめに様子を聞くなど積極的にしている。 ・声掛けをしながら、インシデント・ヒヤリハットを防いでいる。 ・利用者様への気づきをミーテイングで話し情報を共有している。 ・変化・気づきがあった際には、管理者・ケアマネ・サービス担当者と話しあう機会を設け					

		ている。					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	7	11	0	0	特になし	・個々のファイルが作成されており見直しも行っている
		[具体的な状況・取組内容] ・ACP を利用し本人・家族の意向を把握している。 ・変化があった際の修正が不充分な時がある ・アセスメントを大切にし本人・家族の希望を含めた計画書を作成している。 ・個別のファイルが作成され目標を把握できる。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	3	15	0	0	特になし	・PT 不在の為、生活リハビリ実施し 安全にリハビリが実施できるよう支援している
		[具体的な状況・取組内容] ・一人一人に添った生活スタイルの構築が出来ていない。 ・車いすの方であっても日常生活のなかで立位や歩行等のリハビリを行っている。 ・自立支援を意識した計画となっている。 ・機能回復訓練は看護師を中心にできる限り行っている。 ・リハビリを意識し全体体操を必ず組み入れている。 ・全介助の方へのリハビリ不足である。 ・個々に添った機能維持等が行えるようミーテイングで話い合う機会がある。 ・手を出し過ぎている時がある。					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測	4	13	1	0		・状況変化の予測とリスク管理は日常的に行・・

	と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	[具体的な状況・取組内容] ・状況の変化や予後・予測を踏まえ主治医・看護師・介護職と情報共有が出来ており計画に反映されている。 ・考えられるリスクに関しては、管理者・ケアマネを中心に家族と共有出来ている。 ・家族と充分に話し合いができている。 ・多職種と連携が取れている。				特になし	主治医に報告相談事前支持をもらう等ケアマネジャーと共同して行っている
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	7	11	0	0	特になし	・日々のケアの中で小さな変化を見逃すことがないよう注意し看護と介護が常に情報共有している ・病状が変化により計画が変わったときには計画の見直しを行っている
		[具体的な状況・取組内容] ・ケアマネ・看護・介護間で細かい情報交換が出来ており対応に繋がっている。 ・必要時の計画変更は行っている。 ・タイムリーに計画への反映ができていない。 ・状態変化への迅速な対応が出来ている。 ・看護計画の評価・アセスメントが出来ている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	8	10	0	0	特になし	・送迎時にも1日の様子を家族に伝えるとともに、家族の状況も把握するように努めている ・利用者、家族の状況に合わせて柔軟に対応している
		[具体的な状況・取組内容] ・訪問し自宅での様子を把握する事ができている。 ・ケアマネが通常以外にも必要に応じて訪問を行っており継続的な把握が出来ている。 ・訪問以外にも送迎時家族と話す機会が多く					

		状況把握することが出来ている。 ・通い・泊りの利用が過度にならないよう訪問を行っている。 ・泊りの希望をされない方へも体調の変化等に合わせ急な泊りにも対応が出来ている。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	14	4	0	0	特になし	・利用者の家族の希望、目標の阻害要因となり得る状況の変化等にはすぐに家族・主治医・関係機関に報告し対策が検討される
		[具体的な状況・取組内容] ・多職種との連携や情報交換を日頃より行えている。 ・変化があった時には、家族・主治医へ報告を行っている。 ・訪問診療に看護師・ケアマネが同席し情報交換を行っている。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	17	1	0	0	特になし	・介護職が専門的な研修を受けることにより多数のサービスの提供が可能となっている ・担当表により各々の役割を明確化し互いに協力し合ってサービスの提供に努めている ・医療ニーズの高い方の場合は看護・介護と共同しケアにあたっている
		[具体的な状況・取組内容] ・専門性を活かし業務が行われている。 ・それぞれの職種が協力しながら業務にあたっている。 ・情報を共有し柔軟に行えている。 ・医療ニーズの高い方へも看護師の指示の元ケアにあたっている。 ・医療ニーズの高い方の入浴では看護・介護					

		と協力しスムーズにケアが行えている。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	17	1	0	0	特になし	・声をかけやすい環境づくりに努めている
		[具体的な状況・取組内容] ・ミーティングを活用し情報共有、対応策の検討が出来ている。 ・専門職の知識をもちより解決策・対応策の話し合いが行われている。 ・病状の変化等、その都度、報告、連絡し共有している。 ・個々に得た情報も共有し、知らない事が無いよう心掛けている。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	13	5	0	0	特になし	・必要な処置や経過等わかりやすいように説明がされている
		[具体的な状況・取組内容] ・具体的な予防に対しての指示が出されている。 ・病状や、処置内容の説明が行われている。 ・開始前には予後予測の情報伝達がしっかりとされている。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等に	6	12	0	0	特になし	・サービスの趣旨が理解できない家族の方には

	ついて、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	[具体的な状況・取組内容] ・個々に合わせ解りやすい言葉で説明を行い同意を得ている。（心掛けている） ・都度、疑問や相談に対応し理解して頂いている。 ・理解の難しい利用者様へは家族への説明により同意を得ている。 ・ケアの内容等も解りやすく説明をお k なっている。 ・可能・不可能な事も踏まえ、利用方法の提案を説明している。						ケアマネジャーが具体例を挙げわかりやすいように説明し理解を得ている
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明								
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	6	12	0	0	特になし		・個別に計画書を作成し、説明後同意を得ている
		[具体的な状況・取組内容] ・解りやすい説明を心掛けているが、理解できない方もいる。 ・不安のない様、説明している。 ・契約時・更新時以外にも訪問し説明・同意を得ている。 ・理解出来ているかも確認をしている。						
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	14	4	0	0	特になし		・退院後の状態が不安定な時期は自宅へ訪問し処置やケアについて指導を繰り返し行い不安が軽減するよう努めている
		[具体的な状況・取組内容] ・処置・ケアに関して自宅へ訪問し一緒にケアしながら解りやすく説明している。 ・解りやすく説明し、機器の取り扱いには自身も学んでいる。 ・認知症の方などもいる為、全ての方の理解は難しい。						

		・必要時には家族が手技習得まで泊り対応し不安の軽減をしている。 ・解りやすい言葉で説明し理解・同意を得ている。						
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有								
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	14	4	0	0	特になし		・ACP 用紙を活用しスタッフ全員が利用者、家族の希望に添えるよう努力している
		[具体的な状況・取組内容] ・本人・家族の希望に添ったサービス提供が出来ている。 ・終末期や状態変化に応じてカンファレンスが行われている。 ・本人・家族の希望は個人ファイルに記録されスタッフが共有できるようになっている。						
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	8	10	0	0	特になし		・医師の説明の元、不安なく最後を看取れるように傾聴し記録している
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者・家族と今後の想定についても常に情報を共有する事が出来ている。 ・カンファレンス時に今後の意向を相談し共有が出来ている。 ・ACP を活用している。						
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者	14	4	0	0	特になし		・医師の説明の元、不安なく最期を看取れるように傾聴し記録している
		[具体的な状況・取組内容] ・家族への主治医からの説明時、看護・ケアマネが立ち合い、内容を記録に残している。						

	等の意向等を記録として残している	・ACP を活用しスタッフ全員が把握できるようになっている。						
2. 多機関・多職種との連携								
（1）病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供								
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行								
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	16	2	0	0	特になし		・すべての利用者に対して主治医より指示をもらい毎月報告書を出し連携を取っている ・退院時にはカンファレンスの開催を積極的に行い退院後も不安なく受け入れができるよう共有している
		[具体的な状況・取組内容] ・カンファレンスに参加し情報得ている。 ・カンファレンスに参加し状態把握したうえで、在宅での課題・注意点等の連携が行われている。						
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有								
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	12	6	0	0	特になし		・すべての利用者に対して主治医より指示書をもらい、毎月報告書を出し連携を取っている
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医と連携している。 ・緊急時の対応方針について共有出来ている。 ・状態変化等、報告し共有している。 ・緊急時の受け入れ先も共有が出来ていて迅速に対応している。						
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築								
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	14	3	1	0	特になし		・状態の変化が予測される利用者は早めの対応を取るようにしている ・利用者個人の連絡先が分かるようにしてあり、急変時の対応を明記している
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医を通じて体制が構築されている。 ・連絡体制が出来ている。 ・全スタッフが解るように緊急時の連絡先が記載してある						

（2）多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	13	5	0	0	特になし	・包括支援センター職員、町内会長、民生委員等の方々に出席していただき様々な情報提供や提案が行われている
		[具体的な状況・取組内容] ・2 か月に 1 度会議が行われている。 ・意見交換・報告をしている。 ・情報提供・助言が行われている。 ・地域の活動報告が行われている。					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
（1）地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	13	5	0	0	特になし	・会議後すぐに報告書を作成しファイルし閲覧できるようにしてある また、翌日のミーティングで会議内容を報告している
		[具体的な状況・取組内容] ・会議での内容は次の日のミーテイングにて報告されている。 ・記録は記載し閲覧できるようになっている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	5	9	4	0	特になし	・地域住民の方からの依頼は積極的に依頼を受けるようにしている ・地域住民のボランティアが新型コロナ感染症で受け入れできない状況であったが、時々連絡を取りあい 情報の共有をしている 防災訓練も地域住民の方を招いて行うことができなかった
		[具体的な状況・取組内容] ・包括支援センターに、パンフレットをおいて頂いている。 ・イベントに地域住民の代表の方々をお招きし活動状況を見て頂いている。 （今期はコロナ禍にて難しくお招きが出来なかった）					

		・防災避難訓練に地域住民の方々に参加していただいている。 ・地域のイベントへも参加させて頂き理解を深めてもらえるよう活動している。（今期、コロナ禍の為中止で参加できていない）					
（2）医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	6	1	8	3	特になし	・地域住民の方からの依頼は積極的に受けている
		[具体的な状況・取組内容] ・人員的に難しい。 ・受入れは可能だか現在依頼なし。					
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	18	0	0	0	特になし	・吸引器は十分な数を用意して対応できるようにしている ・吸引の医療的ケアが必要な利用者も安心して利用できる
		[具体的な状況・取組内容] ・介護職の吸引研修を修了している数者が多く配置されている。 ・吸引器等の設備も整っている。 ・看護職より日頃から指導を受けている					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要	14	4	0	0		・人工呼吸器を装着して通所し入浴されてい

	介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] ・現在、呼吸器を装着している方の受入れがある。 ・受入れの体制が整っている。 ・人工呼吸器の説明・講習を看護師より受けている。 ・安心してサービスが利用できるよう支援している。				特になし	る。安全に送迎できるよう看護師が付き添い緊急時の対応を取っている ・階段昇降技術の向上の為日々努力している
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	17	1	0	0	特になし	・看取りに対する職員の意識が高く事業所の役割を理解している ・主治医・看護・介護職と連携が取れる体制にあり、積極的に受けている
		[具体的な状況・取組内容] ・安心して看取りができる体制が整っている。 ・看取りに対して不安がないよう情報の共有をしている。 ・看取り支援で利用されている方がいる。 ・本人、家族の意向に沿った形での看取り支援が出来ている。					
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	15	2	0	特になし	・管理者がミーティング等で地域包括ケアの重要性を理解している
		[具体的な状況・取組内容] ・あまり理解できていない。 ・研修会に参加し看多機の役割の理解に努めている。 ・住み慣れた地域での一体的な支援に向け看多機の役割の理解に努めている。					
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39		15	3	0	0		・特定の集合住宅に限定しておらず金沢区全域

	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	[具体的な状況・取組内容] ・特定の集合住宅に限らず様々な地域から利用されている。 ・近隣の方に限らず、医療ニーズの高いサービスを必要とされている方への提供 支援をしている。 ・地域を限定せず送迎も柔軟に対応している。 ・金沢区をエリアとしている。				特になし	でのサービスを提供している
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	3	11	4	0	特になし	・必要に応じてボランティアやインフォーマルなサービスに結び付けている
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議等で情報の共有をしている。 ・地域への参加が少ない。 ・地域の方にも協力頂き、避難訓練を実施している。					
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、	4	11	3	0		・実際に自宅に訪問し手技の確認・相談を受け、

	その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	[具体的な状況・取組内容] ・必要に応じ訪問し手技の確認や、指導を行っている。 ・家族への取り組みは出来ているが、近隣住民への取り組みは積極的に行えていない。 ・家族が介護に安心して参加できるようサポートをしている。	特になし	宿泊が多い利用者家族には手技の伝達や、ケアの指導を行っている

Ⅲ　結果評価	

① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている　（7名） 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている　（10名） 3．利用者の1/3くらいについて、達成されている　（1名） 4．利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] ・対応が出来ており、目標が達成されている。 ・状況変化を見逃さず、目標に向けて支援している。 ・柔軟な対応が出来、目標達成が出来ている。 ・状態変化、状況変化に都度、改善策を検討し支援している。 ・自宅での生活を基本とし、出来る事の継続支援を行っている。	特になし	・利用者の身体、精神状況の変化家族の状況変化により柔軟に対応し目標に向かって努力している
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている　（13名） 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている　（5名） 3．利用者の1/3くらいについて、達成されている　（0名） 4．利用者の1/3には満たない　（0名） [具体的な状況・取組内容] ・体調が悪い時には泊りを追加し病状管理に努めている。 ・自宅で体調不良になった時は看護職が訪問し主治医に繋げる等、家族・本人が	特になし	・医療依存度の高い利用者やその家族が安心して在宅生活が送れるよう支援している

		安心できるよう支援を行っている。 ・本人、家族が相談しやすい雰囲気作りをしている。		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている　（18 名） 2．利用者の 2/3 くらいについて、達成されている　（0 名） 3．利用者の 1/3 くらいについて、達成されている　（0 名） 4．利用者の 1/3 には満たない　（0 名） 5．看取りの希望者はいない　（0 名） [具体的な状況・取組内容] ・ご本人、家族の意向に沿い、最期までその人らしい生活を送れるよう支援しています。 ・安心感がもてるよう看護・ケアマネが訪問し支援している。 ・自宅で看取りが困難な時は、ふくふくで安心して看取りが行えるよう支援している。	特になし	・職員が傾聴、共感することにより利用者、家族からの信頼関係を構築し 安心して利用できるよう努力している ・その人らしい、その人が望む看取りになるよう、個々に応じた支援を行い 必要な時に必要なサービスの提供を行えるよう備えている。